

組込み技術研究会の取り組みについて

岩手県では地域IT産業の「県外市場へのシフトによる売上拡大」を促進するため、平成18年度から「戦略的IT産業強化育成プロジェクト」をスタートしています。このプロジェクトは組込み技術に関する①産学官ネットワークの形成（組込み技術研究会）、②受発注の取引あわせん・情報提供、③組込み技術者の育成を推進しているものです。（①と②をセンターが担当しています）

本県では、岩手県立大学を始め、多くの教育研究機関が組込み技術に関連する分野の人材育成に取り組んでいることから、本県全体の組込み技術の競争力強化を図ることを目的として、昨年10月、「組込み技術研究会」を設立しました。

会長には岩手県立大学 組込技術研究所の曾我正和所

長が就任し、事務局をセンターが担当しています。IT関連企業20社をはじめ、産学官の実務者が参加する実働的なネットワークとして活動しています。18年度は「移動体通信の動向」、「首都圏企業による案件説明会」、「デジタル回路設計CAD講習会」等を開催しました。

組込み技術研究会への入会は随時受付し、参加料は無料です。

今後は、「ものづくりとITとの連携・融合」を目的として、電子系ものづくり企業への参加を求めながら、参加者相互の情報交流、技術・市場動向の情報共有、技術開発など連携体の形成促進、人材育成の仕組み検討などを積極的に進めていく方針です。

【お問い合わせ先】 育成支援グループ：019-631-3822

戦略的総合支援事業がいよいよ始動

昨年度から実施しているこの事業は、全国を視野に事業拡大を図ろうとする企業や地域の産業を牽引する成長意欲を持つ企業を総合的・組織的に支援し、育成しようとするものです。

昨年度は6社を対象に実施しましたが、本年度は最終的に申請のあった11社についてヒアリングを行い、外部の審査委員会で事業目標、事業計画、社内体制、センターの支援の必要性・支援の効果、財務状況等について慎重に審査を行った結果、3社に絞り込んで濃密に実施することになりました。

選定された3社の概要は右のとおりですが、昨年度からの継続が2社、新規1社です。

3社につきましましては、今後、各社ごとに支援チームを編成し、事業目標、支援目標を明確にし、支援計画を立てた上で必要に応じ外部支援スタッフを投入しながらセンターのあらゆる支援ツールを駆使して支援していくこととなります。

企業にとっても何かと大変とは思いますが、成果が出るよう最後までがんばっていただきたいと思います。各社の進捗状況や成果については今後も随時お知らせしたいと思いますのでご期待ください。なお、本年度は再募集の予定がありませんが、来年度挑戦したいと思う方は早めに準備されたほうが良いと思いますのでセンター・総合支援グループまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】 総合支援グループ：019-631-3826

対象企業のプロフィール等（注：申請時）

企業名 小野食品(株) [継続]
 代表者名 小野昭男
 所在地 釜石市両石町4-24-7
 電話番号 0193-23-4675
 資本金 44,000千円
 従業員数 77人
 業務内容 調味冷凍食品の製造、販売
 (焼き魚、煮魚、調味切身、和風総菜)
 今回のテーマ：三陸産の新鮮な原料を活用した水産調理品の自社ブランドシリーズの販路開拓、販路拡大

企業名 (株)エツリコエンジニアリング [新規]
 代表者名 菊池公二郎
 所在地 北上市滑田20地割111-1
 電話番号 0197-77-2666
 資本金 10,000千円
 従業員数 52人
 業務内容 電力機器、工作機械等大手メーカーの1次下請け
 (設計、板金、塗装及び組み立て品を製造)
 今回のテーマ：設計から精密板金・組み立てまでの「提案型高付加価値製品の一貫生産体制」の構築による販路拡大

企業名 (株)マーマ食品 [継続]
 代表者名 伊藤恒利
 所在地 花巻市桜町4丁目241-2
 電話番号 0198-24-6811
 資本金 10,000千円
 従業員数 61人
 業務内容 業務用総菜製造(和惣菜、中華キット、おこわ)、米飯製造(学校給食等)
 おからこんにゃくの製造販売
 今回のテーマ：おからこんにゃくの全国的販売、おからこんにゃくの総菜製品の開発、肉売り場での販売製品の開発、アメリカ市場への販売